

第4章 構文論

文の種類

1

2

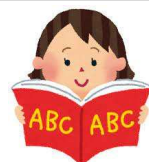
<文の性質上の分類>

① : 物事をありのまま述べる文

※例) 「彼は不親切です。」

② : 聞き手に対する質問・疑問を表す文

・ /
 ・ /
 ・ /補充疑問文/



3

3

③ : 聞き手に命令したり、行動を求めたりする文
 依頼、禁止を表す文も含む

④ : 話し手の感動・驚き・喜び・残念な気持ちなどを表す文

⑤ : 聞き手を勧誘する文や、話し手の意志を表す文

4

4

1

<文の構造上の分類>

- ・ : 例) 花が咲いている。
- ・ : 例) きのう行った本屋で雑誌を買った。
 きのう本屋に行って、雑誌を買った。
- ・ : 2つ以上の節が、
 例) 雨が降り、風が吹く。

5

＜述語の有無による分類＞

- ・ **：文末が述語の文**
がある
- ・ **：文末が述語ではない文**
を用いた文
※叫び、応答、かけ声、あいさつ、よびかけなど

6

述語文の種類

7

<述語文>

- ① **名詞(述語)文** 例) あの人が ミラーさんだ。
⇒ 「ミラーさんだ」が述語の文
- ② **形容詞(述語)文・形容動詞(述語)文**
例) 富士山が きれいだ。
- ③ **動詞(述語)文**
例) アンナが ミラーに チョコを あげた。

8

<名詞(述語)文>

①

例) ペンギンは 鳥類だ。

トムは アメリカ人だ。

大谷翔平は 野球選手だ。

・「AはBだ。」⇒

ことを表す

・

11

②

例) あの人は わたしの先生だ。

彼は 山本さんです。

・「AはBだ。」⇒

ことを表す

・

12

③

／ 非同定文 ／ はしより文

例) わたしは うなぎ(です)。

田中さんは 会議室(です)。

春は あけぼの。※枕草子



・「AはBだ。」⇒

・

13

<※その他の名詞(述語)文>

を表す名詞(述語)文

例) 計画は いよいよ明日決行だ。この電車は あと5分で出発だ。会議は まもなく開始です。

・ 述語は、主に

・「AはBだ。」

⇒

という意味を表す

15

<形容詞(述語)文・形容動詞(述語)文>

述語に **形容詞** と **形容動詞** が来る文

例) この猫は かわいいです。

パリは きれいだ。

「桜は きれいです。」 ⇒

「桜は きれいな花です。」 ⇒

⇒

17

<動詞(述語)文>

動詞にかかわる文法形式

- ① ……**受身、使役**など
- ② ……**動作のある局面**を表す
例) 読み始める、読んでいる、読み終わる
- ③ (時制)
- ④ ……話者の気持ちを表す
例) 旅行に行きたい、もっと勉強するべきだ

18

<ヴォイス(態)>

①

②

③

④

⑤

※③～⑤をヴォイスに含むかどうかは、学者によって意見が異なる。

※教科書では、「受動表現」「使役表現」「可能表現」をヴォイスとしており、「自発」は「受動表現」の一つとしている。

19

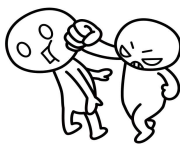
19

ヴォイス<受身>

22

22

能動文：ジャイアンが のびたを 殴った。



⇒

受身文：

⇒

<活用> 五段：語幹＋ 書かれる kak-are-ru

上一段・下一段動詞：語幹＋
食べられる tabe-rare-ru

サ変・カ変：される、来られる

23

23

<受身文の種類>

主語はなに？

①

⇒

が主語

②

⇒

が主語

③

⇒

が主語

24

24

能動文：ジャイアンが のびたを 殴った。

直接受身文：

能動文： 雨が 降った。

間接受身文：

能動文： 誰かが わたしの 足を 踏んだ。

持ち主の受身文：



25

25

<直接受身文> ・対応する能動文の目的語が主語

能動文：ジャイアンが のびたを 殴った。

： のびたは ジャイアンに 殴られた。

能動文：部長が 私に 仕事を 頼んだ。

： 私は 部長に／から 仕事を 頼まれた。



26

26

5

⇒ 対応する能動文の

能動文：ゴッホが 「ひまわり」を 描いた。

受身文：

能動文：（学校が）卒業式を 行った。

受身文：

※動詞が「創造する」という意味を持つ場合、その動作主を「によって」で表す

28

28

<間接受身文／

>

⇒ 対応する能動文に含まれない人が主語

能動文の出来事によって、

能動文： 雨が 降った。

間接受身文：

能動文： 子どもが 泣いた。

間接受身文：

29

29

<持ち主の受身文>

- ・ 対応する能動文の 目的語の持ち主が主語
- ・ ポジティブなことも表せる

能動文：先生が ミラーさんの作文を ほめた。

受身文： ミラーさんは 先生に 作文を ほめられた。

30

30

※「持ち主の受身文」について

教科書P107 例(8)(9)(10)では、直接受身文として扱われている

直接受身文と持ち主の受身文の共通点

⇒

※間接受身文は、能動文の事態には含まれない人物が登場し、迷惑な気持ちを表す

能動文：雨が 降った。

間接受身文：わたしは 雨に 降られた。

31

31

R4【試験Ⅲ】

問題3 次の文章を読み、下の問い（問1～5）に答えよ。

日本語の動詞は、自動詞と他動詞に分けられる。他動詞を認定する基準は二つある。一つ目は、他の対象に対する働きかけがあることであり、具体的には、対象のヲ格をとる動詞が他動詞と認定される。ただし、ヲ格をとる場合でも、(ア)のヲ格をとる動詞は自動詞に分類される。二つ目は、直接受身文を形成することである。

自動詞には意志的自動詞と非意志的自動詞があり、後者には、語幹の一部を共有し、
「Xガ 自動詞」「Yガ Xヲ 他動詞」という関係のペアを持つものがある。自動詞と他動詞のペアがある動詞には、意味的な違いがある。一方、対応するペアがない場合は、文法的な形式で補われることがある。

自動詞と他動詞の習得には困難が伴うため、初級から上級まで繰り返し指導する必要がある。

36

問2 文章中の下線部A「直接受身文」の例として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 友人に無理な仕事を頼まれて、しぶしぶ引き受けた。
- 2 同僚の鈴木さんに会社を辞められて、毎日忙しくなった。
- 3 5歳下の後輩に先に昇進されて、落胆した。
- 4 映画館で隣の観客に騒がれて、迷惑だった。

38

ヴォイス＜使役＞

43

<使役の特徴>

- ・
- ・



能動文： 子どもがゲームを やめた。

使役文：

44

7

<活用>

語幹＋

五段動詞：書かせる kak-ase-ru上一段、下一段動詞：食べさせる tabe-sase-ruサ変、カ変：させる、来させる

45

45

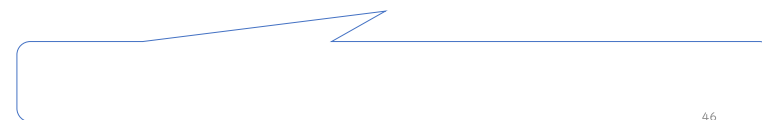
<使役文の格>

能動文： 学生達が 帰った。

自動詞の使役文：

能動文： 学生達が しゃべった。

自動詞の使役文：



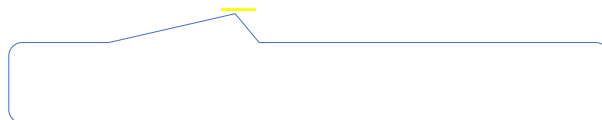
46

46

<使役文の格>

能動文： 子どもがにんじんを 食べた。

他動詞の使役文：

× 母親は 子どもを にんじんを 食べさせた。

47

47

<使役文の意味>

①

例：(いやがる) 子供にピーマンを 食べさせた。

②

例：(時間が余ったので) 好きなことを しゃべらせた。

③

例：何を言っても聞かないんだから、好きに させればいい。

49

49

④

例：今の社長が会社の経営状況を悪化させた。

⑤

例：社長の怠慢が会社の経営状況を悪化させた。

⑥

例：改めてご連絡させていただきます。

50

50

<使役と似た意味を持つ他動詞>

【他動詞】【使役】

寝かす 寝させる（寝る）例）母親が子どもを寝かした。/寝させた。

（見る）例）先生が学生に動画を /

（帰る）例）先生が学生を /

（着る）例）母親が子どもに服を /

53

53

ヴォイス<使役受身>

54

54

<「使役受身」の特徴>

- ・ 話し言葉では、（短被役／俗形）になることが多い

- ・

使役文：母は わたしに ゲームを やめさせた。

使役受身文：わたしは 母に ゲームを やめさせられた。

が主語

55

55

<活用>

五段：語幹+[-ase-]+[-rare-ru]

歌わ (短縮形：語幹+ [-as-are-ru])

上一段、下一段動詞：語幹+[-sase-]+[-rare-ru]

食べ (短縮形：)

サ変、カ変：勉強 **させられる** (短縮形：)**こさせられる** (短縮形：)

56

56

ヴォイス<授受表現>

58

58

- ・あげる、さしあげる(謙譲語)、(やる)
- ・もらう、いただく(謙譲語)
- ・くれる、くださる(尊敬語)

- ・Vてあげる、Vてさしあげる、(Vてやる)
- ・Vてもらう、Vていただく
- ・Vてくれる、Vてくださる

59

59

<「授受表現」の特徴>

- ・
- ・
- ・

60

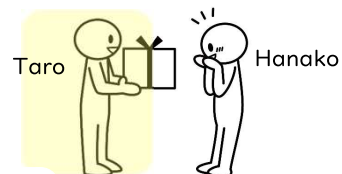
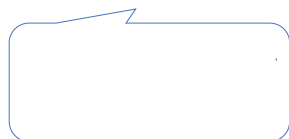
60

10

「あげる」

は

に [もの] を あげる。



は

に プレゼントを あげた。

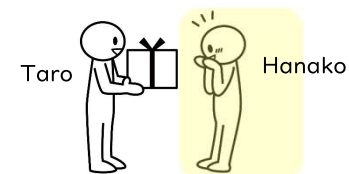
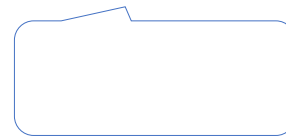
63

63

「もらう」

は

に/から [もの] をもらう。



は

に/から プレゼントを もらった。

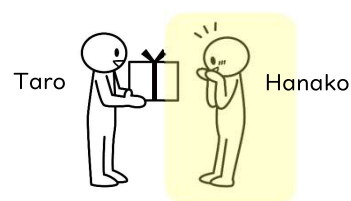
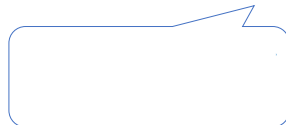
64

64

「くれる」

は

に [もの] を くれる。



は

に プレゼントを くれた。

65

65

「Vてあげる」

は

を/に Vてあげる。

基本的に話し手 or
話し手のウチの人



わたしは 彼女を 助けてあげた。

息子の太郎は 花子ちゃんに ペンを 貸してあげた。

67

67

「Vてもらう」

は に Vてもらう。

基本的に話し手 or
話し手のウチの人



わたしは 彼に 助けてもらった。

娘の花子は 太郎くんに ペンを 貸してもらった。

68

68

「Vてくれる」

は を/に Vてくれる。

基本的に話し手 or
話し手のウチの人



彼は わたしを 助けてくれた。

太郎くんは 娘の花子に ペンを 貸してくれた。

69

69

「Vてもらう」と受身文、使役文との関係

わたしは 先生に 助けてもらった。 / ほめてもらった。

受身文: わたしは 先生に

わたしは 息子にビールを 買ってきてもらった。

使役文: わたしは 息子にビールを

70

70

ヴォイス<可能>

75

75

12

・
例) 日本語が話せる。上手に泳げる。Excelが使える。

・
例) ここなら大きな声で話せる。
危険なのでこの川では泳げない。
パソコンの不具合が直ってExcelが使えるようになった。

76

76

<活用>

五段動詞：語幹+[-e-ru] 書ける kak-e-ru

上一段、下一段動詞：語幹+[-rare-ru] 食べられる tabe-rare-ru

サ変、カ変動詞：できる、来られる

・
×食べれない ×来れない
・
× きれいな母に似られてよかった。

77

77

<可能文の格>

⇒このような格の交替ができるので、ヴォイスに含むという考えがあるが、含むかどうかは学者による



78

78

ヴォイス<自発>

83

83

13

自発⇒ある動きや思考、感情などが、

<表現の仕方>

を表す動詞のみ

- ①
- ② で自発を表す動詞
例) 思う⇒思われる、感じる⇒感じられる、
- ③ で自発を表す動詞
例) 泣く⇒泣ける、笑う⇒笑える

84

84

<自発の格>



⇒このような格の交替ができるので、ヴォイスに含むという考えがあるが、含むかどうかは学者による



85

85

<「自発」の用法上の制限>

ただし「～らしい」「～だろう」といった推量の表現や小説の中では、1人称以外も使うことがある

例) この曲を聞くと彼には故郷が思い出されるらしい。

86

86